

静脈麻酔薬 プロポフォールに 臓器障害軽減への 期待を込めて



旭川医科大学病院集中治療部

准教授・部長 小北直宏

小北直宏准教授は、昭和61年に旭川医科大学を卒業後、札幌医科大学麻酔科学講座に入局、道内各地の基幹病院で麻酔科をベースに救急、集中治療の臨床を研鑽する傍ら、重症患者管理に関する臨床研究、さらに臓器機能保護に関する基礎研究成果を発表してきた。中でも虚血性臓器障害を如何に軽減するかを、全身麻酔薬プロポフォールを用いその有効性を発表し、その臓器保護効果は広く認識され現在でも世界中で安全に使用できる薬剤となっている。平成8年学位取得後、2年間のアメリカ留学では循環管理の基礎研究を発表、その後も、臓器機能保護に関

する報告を通じ、重症患者の救命に全力を尽くしてきた。

平成19年からは旭川医科大学救急医学講座に異動され、研究を継続・発展させるとともに、附属病院の救急・集中治療分野の整備に着手し、救命救急センター開設をはじめとする病院機能の充実や医療安全の向上に尽力された。以後、旭川医科大学病院における重症患者管理と救急医療の中心的存在として、現在まで診療と教育に貢献されている。特にこのコロナ禍において、道北・オホーツク・道東各医療圏の重症患者の受け入れと集中治療室の体制維持にリーダーシップを発揮され、さらに遠隔医療システムを用いた救急医療体制の強化にも成果を上げ、今後このシステムが道内の地域医療の維持・発展につながるものとその期待は大きい。



みんなで乗れば、
未来が変わる。

考えよう。行動しよう。公共交通の未来。

北海道医師会は、北海道鉄道活性化協議会（会長：北海道知事）の構成団体として、JR北海道をはじめとする公共交通機関の利用促進に協力しています。

会員の皆さまにも是非ご支援を賜りますようお願いいたします。

公式 Web サイト <https://www.hokkaido-rail-k.jp/rail yell-cam>